

市政に関する一般質問 12月会議は20名の議員が質問

新鎌ヶ谷駅南側未利用地(県有地)の土地活用について

勝 又 勝 議員

○ 新鎌ヶ谷駅南側に残る2カ所の未利用の県有地に係る活用について、県との協議状況を伺います。

○ 本市の発展やにぎわいの創出につながる土地活用を県と共有していますが、これら

環境に対する施策について

針 貝 和 幸 議員

○ 近隣のEV車※の導入状況を伺います。

○ 白井市が1台。船橋市、野田市及び我孫子市が2台。松戸市が6台。市川市が8台。柏市及び流山市が13台です。東葛5市に加え、本市に隣接

学校給食費の保護者負担の軽減について

寺 本 真 理 議員

○ 学校給食費の公費補填の現状を伺います。

○ 小学校1食あたり25円、中学校1食あたり59円の公費補填を実施しています。

物価高騰対策のための重点支援地方交付金の活用について

小 易 和 彦 議員

○ 低所得世帯支援枠の概要を伺います。

○ 国からの通知によると、支援の方法や1世帯当たり単価などの具体的な内容は地域の事情に応じて決めることができるので、本市では現金で

昼間の人口増加やにぎわいの創出など駅前周辺に相応しい活用が望ましいと考えています。

○ 市の考えと相違の無い形で活用されるための今後の対応について伺います。

○ 市が県から土地を取得することも選択肢の一つであるため、引き続き、県と取得の方法や条件について協議したいと考えています。

排出ガスが一切無いこと、また、災害時には、動く電源車として避難所で携帯電話の充電などに活用可能となりますが、市内の充電設備の設置状況を踏まえると、庁用車駐車場に充電設備の設置も必要となります。しかし、環境施策として大変有効なことから、導入に向けて課題整理を進めたいと考えています。

○ 小学校入学に伴う経済的負担を軽減させるため、小学校1年生を対象としました。今後も給食費の完全無償化には財源の継続的な確保に大きな課題がありますが、国や県近隣市の動きを注視しながら保護者負担の軽減に向けて取り組んでいきます。

○ 追加の補正予算議決後の具体的な給付時期を伺います。

○ 年内の支給開始を視野に早期に給付できるように調整を進めています。

○ 12月会議の散会日に追加の補正予算を上げることができるように調整を進めています。

○ 追加の補正予算議決後の具体的な給付時期を伺います。

水害対策について

泉 川 洋 二 議員

○ 東初富一丁目16番地先の浸水被害の軽減策について伺います。

○ 一般的には、既設配水管の口径を大きくしたり、新たなルートの配水管の整備などにより流下能力を向上させることのほか、大雨の際、雨水流出を抑制し、下流の排水管への負荷を軽減する雨水貯留浸透施設を設置することなどが考えられます。



雨水浸透ます

北千葉道路早期実現に向けて

伊 藤 仁 議員

○ 北千葉道路の早期供用が一番時間がかかるのは用地買収ですが、地権者が納得して買収に応じるかは、地権者個人のメリット、デメリットもあります。道路用地に隣接する買収されない自分の土地が高架により日陰になるのか、地下化によりいろいろな施設ができて、都市公園に面した環境のいい土地になるのかは大きな違いです。また、この道路が鎌ヶ谷にとって価値あるものになるかも大きく、そ

○ 地下化できるのであればその方が良くと思います。市民に聞いても同じように考えていると思います。しかし、費用の検証をするための設計も組まれていないのが実態です。そのような中で、事業経費が大きく増大したときに国民の理解を得られるのか大きな疑問です。

議会だよりについて ご意見・ご感想をお寄せください

お気づきの点がございましたら、電話やホームページのお問い合わせメールフォームからお知らせください。いただいた貴重なご意見等は、今後の議会だより作成の参考とさせていただきます。

鎌ヶ谷市文化財保存活用地域計画について

森 谷 宏 議員

○ 第3期鎌ヶ谷市教育振興基本計画における伝統や文化の取組について伺います。

○ 同計画は、子どもたちが自ら課題を見つけ、解決するための資質、能力を身に付けるよう学校、家庭、地域

での連携や協力について定めています。地域の伝統や文化財を学ぶことは、地元への愛着や誇りを持つことや文化を継承する心を育てることから、子どもたちが学ぶ機会を創出し、学校、家庭、地域

福祉タクシーの拡充について

水 町 元 大 議員

○ 福祉タクシーの制度の概要を伺います。

○ 重度の心身障がいを持つ方が対象で、市と契約したタクシーを利用した場合の運賃に対し、1回あたり70円を助成するもので、障がいの程度に応じて年間に決められた枚

買い物困難者への支援について

伊 福 幸 一 議員

○ 令和5年10月から開始した民間事業者による移動販売の概要を伺います。

○ 日常の買い物に不便を感じる方々の問題の解消、地域の見守りやコミュニティの醸成を図ることを目的とするもので、販売地区は、中沢、道野辺、馬込沢などとなっています。販売方法は、移動スパーの軽トラックに生鮮食品、惣菜、パン、米、日用品

○ 今後の移動販売事業の拡大予定について伺います。

高齢者・障がいの者の移送サービスについて

佐 藤 剛 議員

○ 福祉有償運送サービスの概要を伺います。

○ 身体障がい者や要介護者など、単独ではタクシー等の公共交通機関の利用が困難な方に対し、特定非営利活動法人や社会福祉法人などが営利

の連携を図っていきます。

○ 小中学校では、歴史を理解するための来館機会を提供し、同館の資料の貸し出しも利用しています。また、主に小中学校において、同館が前身授業等を実施するなどの多様な活用を図っています。

付枚数に比べ、利用枚数が少ないことが課題と考えますが令和4年度は、券を交付した1千973人の内、943の方が利用したことや、高齢化に伴い運転免許証の返納などで移動手段を自家用車からタクシーに変更することも想定されるため、今後も必要な制度であるとと考えています。



○ 流山市、白井市、千葉市では、設立及び運営経費を対象に補助金を交付しています。また、市川市では業務に携わる運転手が受講する講習料の一部を補助しており、本市においても当該補助の実績や効果など、先進事例を調査研究してまいります。

○ 流山市、白井市、千葉市では、設立及び運営経費を対象に補助金を交付しています。また、市川市では業務に携わる運転手が受講する講習料の一部を補助しており、本市においても当該補助の実績や効果など、先進事例を調査研究してまいります。

(※)EV車：Electric Vehicleの略で、電気を使って走る車のこと